

行事案内

財団行事の詳細はホームページ等でお知らせします。

30周年記念事業のお知らせ

シンポジウム「小田原北条氏の境目の城」

内容：かながわ考古学財団で発掘を行ない、報告書を取りまとめた河村新城を取り上げ、小田原北条氏の境目の城をテーマにシンポジウム、討論会などを行ないます。
 中井均先生（滋賀県立大学名誉教授）の記念講演や山城ガールむつみさんによるイベント講演も予定されています。
 日時：2023（令和5）年10月21日（土）10:00～15:45（プログラム終了）
 会場：相模女子大学グリーンホール（相模原市南区相模大野4-4-1）
 申込：Web応募 <https://kaf.event-annai.com/entry> から申込下さい。往復ハガキでの申込も受付ます。詳しくは財団HPを参照下さい。
 ※切り9月22日（金）消印有効
 アクセス：小田急線「相模大野」駅北口より徒歩10分程度

イベント上映会

「掘る女 縄文人の落とし物」
 内容：松本貴子監督最新作のドキュメンタリー映画をシンポジウム終了後に上映します。
 日時：2023（令和5）年10月21日（土）16:30～19:00
 会場：相模女子大学グリーンホール（相模原市南区相模大野4-4-1）
 申込：不要・入場無料
 ※上映会終了後にトークショーあり

公開セミナー

「ようこそ縄文の森へ～自然科学と考古学から探る伊勢原の埋没林～」

内容：西富岡・向畑遺跡で発見された縄文時代の埋没林を題材として、考古学のみならず、様々な自然科学分野の専門家と共に埋没林の検討を行ない、縄文時代の自然環境などを探ります。
 日時：2023（令和5）年12月9日（土）10:00～16:30
 会場：伊勢原市文化会館（伊勢原市田中348）
 申込：事前申込制を予定。詳細は今後財団HPやチラシでお知らせします。
 アクセス：小田急小田原線「伊勢原」駅北口より徒歩15～20分 伊勢原市役所となり

その他普及事業のお知らせ

○関東考古学フェア

スタンプラリー
 内容：3都県以上で3か所以上の対象施設を見学してスタンプを集めよう。
 日時：2023年7月23日（日）～11月27日（月）
 会場：関東1都6県の対象施設

○発掘された関東の遺跡 2023

内容：関東で発掘された遺跡の発表会
 日時：2023年10月15日（日）
 会場：さいたま文学館

○東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連係事業

公開セミナー
 内容：旧石器から縄文へー気候激変期における人々の生活と社会ー
 日時：2024年1月28日（日）事前申込制
 会場：荏原文化センター（東京都品川区中延1-9-15）

○遺跡見学会

門沢橋出土品整理室見学会
 内容：出土品整理作業の見学
 日時：2023年11月17日（金）、18日（土）
 会場：門沢橋出土品整理室（海老名市門沢橋685-1）

野庭出土品整理室

内容：出土品整理作業の見学
 日時：2024年1月21日（日）
 会場：野庭出土品整理室（横浜市港南区野庭1660）

※ 各行事の詳細は財団HPを確認して下さい

(公財)かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1

E-mail: fukyu@kaf.or.jp

TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162



お問い合わせ

発掘帖バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

考古学財団発掘帖

No.40 2023(令和5年)第2号

令和5年9月29日発行

編集・発行：(公財)かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1

TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162

ホームページ: <https://www.kaf.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/kanagawakougakuzaidan/>

X(旧Twitter): https://twitter.com/kouko_kanagawa



考古学財団

公益財団法人かながわ考古学財団情報誌

はっくつちょう 発掘帖

No.40

2023(令和5)年第2号



前方後円墳(1号墳) 全景

厚木市

及川伊勢宮遺跡

発見された荻野川流域の埋没古墳



方墳(2号墳) ①と出土した土器 ②

神奈川県厚木市に所在する及川伊勢宮遺跡では、発掘調査範囲中から全長37m（周溝を含めた主軸長は45m）の前方後円墳（1号墳）と方墳（2号墳）、円墳（3・4号墳）による4基の古墳が確認されています。中でも前方後円墳は、市内の最北に位置することに加え、荻野川流域では初の事例となりました。前方後円墳の周溝からは、土師器の壺や高杯の破片、さらに隣接する方墳からは小型丸底壺が2点出土しました。前方後円墳と方墳の築造年代は遺物の型式から、古墳時代前期後半～中期初頭である可能性が高いと考えられます。特に、この遺跡での前方後円墳の発見は、古墳時代における神奈川県内の地域間関係を考えていく上で大変重要な事例といえます。

次ページのコラムに続きます

これまで一度も発掘帖で紹介されていなかった中依知遺跡群！今回は「発掘調査今昔」と題して、中依知遺跡群の過去と近年の発掘調査成果をあわせてご紹介いたします。是非、見比べてみてください！

※調査の内容は発掘時点の成果であり、調査の進展及び出土品整理作業において、名称や評価を変更する場合があります。



及川伊勢宮遺跡
中依知遺跡群

本号で紹介する遺跡